

『善の巡環』の精神で社会に貢献

YKK (株) 環境・安全衛生グループ
野田 太平

企業は社会の重要な構成員であり、共存してこそ存続でき、その利点を分かち合うことにより社会からその存在価値が認められる。

YKK グループの事業活動の根底には、“他人の利益を図らずして自らの繁栄はない”という『善の巡環』の精神が貫かれている。この精神のもと、本業を活かした社会貢献から、本来の事業活動から離れた教育や地域の活性化、そして国際交流のバックアップなど、さまざまな活動にも積極的に取り組んでいる。

30 カ国 52 拠点で一斉植樹

YKK グループは世界 70 カ国・地域で、地域社会の一員として事業活動を推進している。その中で環境保全活動の一環として、以前より各国それぞれで従業員による植樹活動を進めていた。その活動は、エジプトの砂漠化が進む乾燥地帯の緑

化活動や中国の森林伐採の跡地、荒廃して土壌の力が弱まった土地の緑化活動などの大きなものから、工場周辺地域の住民との共同の植樹、従業員による工場敷地内の植樹などさまざまである。

植樹活動は、植物による温室効果ガスの吸収、周辺環境のバランスの良い生態系の形成などに貢献するとともに、従業員一人ひとりの環境意識の向上にもつながることから、2008 年度から、6 月 5 日の世界環境デーを中心に、YKK グループの国内外会社・工場にて一斉に植樹を実施することを目的とした「YKK Group Tree Planting Day」を開始した。2008 年度は、参加 31 カ国(32 拠点)で計 3000 本を植樹した。2009 年度は、植樹の意義を再認識してもらうために、『温暖化と植樹活動』というテキストを付けて参加を呼びかけ、参加 30 カ国(52 拠点)で計 7065 本の植樹となった。

今後も植樹への参加国を増やし継続することで、環境保全に貢献していきたい。

世界 32 拠点で実施した植樹風景 (2008 年度)



女性の社会進出を支援するインド社

近年、インドは IT 産業を中心に急速な経済成長を続け、中国と共に BRICs の一端を担う重要な存在になっている。インドでは、ヒन्दゥー教徒が最も多く、ヒन्दゥー教にまつわる身分制度(カースト制度)が廃止された今でもその影響は残っており、複雑な身分制社会を形成している。経済発展が進む一方で、身分制社会が低所得者層の生活改善や女性の社会進出を遅らせているだけでなく、教育政策にも影響を及ぼしている。インド政府は初等教育における識字率 100% を目指し

て、財政的な教育支援をおこなっているが、低所得者層や農村地域における教育水準の維持は困難な状況となっている。

YKK インド社ハリアナ工場近隣の農村部においても同様の状況で、村民（特に女性）の社会的立場は弱く、経済的問題から十分な教育を受けることができていない。ハリアナ工場近隣の村長からは、女性の社会進出を支援して欲しいとの強い要望が寄せられ、YKK インド社では、女性の社会進出を支援するため、託児所の設置、職業訓練センターの設立、成人教育センターの設立をおこない、CSR 活動を推進してきた。活動の内容は以下の通りである。

■ 2006 年 3 月：女性の雇用機会の創出を目的



ハリアナ工場内の託児所の様子

として、ハリアナ工場に勤務する女性従業員を対象にした託児所をハリアナ工場敷地内に設置した。幼い子どもを持つ女性

性でも安心して工場で仕事ができる環境づくりをおこなっている。

■ 2007 年 3 月：ハリアナ工場敷地内に、SDVTC (Social Development&Vocational Training Center：社会訓練・職業訓練センター)を設立した。SDVTC は、若年層女性が職業訓練を通して就業に必要なスキルを習得し社会進出を果たすための支援を目的としている。生徒はハリアナ工場周辺の農村部に住み義務教育を終えたが経済的理由などにより進学がなかった 16～18 歳の女性である。

職業訓練コースには、①刺繍・縫製技術の習得、②英語教育、③パソコン技能の習得の 3 つのプログラムが用意されており、社会で自立するために必要な技能を身につけることができるようになっている。SDVTC の設立初年度は、工場周辺の 2



SDVTC 第 1 期生の卒業式でハリアナ州首相より卒業証書授与

つの村から 15 人の女性を選ばれ、6 カ月間の職業訓練がおこなわれた。その後も、毎年近隣地域から生徒の募集を続け、現在第 4 期



SDVTC で PC 教育、英語教育、縫製技術訓練を受ける女性

生 15 名が職業訓練を受けている。SDVTC 設立から合計 45 名の女性が力強く社会へと羽ばたいていった。卒業生の中には、YKK インド社の従業員として採用され、ハリアナ工場に勤務している人もいる。

■ 2008 年 9 月：AEC (Adult Education Center：



成人教育センターで読み書きの指導を受ける女性

成人教育センター)を設立して、成人女性の識字率改善を目的とした教育プログラムを開始した。このプログラムでは、

教師が近隣農村部を訪問して、成人女性のために読み書きの指導をおこなっている。

YKK インド社は、CSR 活動を通して、女性の経済的自立や社会的地位向上のために、学習、職業訓練、雇用の機会を提供してきた。これからも SDVTC を中心として持続的な CSR 活動を推進し、地域の皆様との絆を一層深め、地域社会の発展に貢献していきたいと考えている。

*

YKK グループがいつの時代も地域に愛され、社会に愛される企業でありつづけるために、これからは新しい文化の創造に貢献できるような活動を、地道におこなっていききたいと考えている。■

◆ YKK の環境・社会活動

<http://www.ykk.co.jp/japanese/corporate/eco/index.html>